

第一部 個人研究発表 (10:00-12:50 人間科学研究棟東館207/106教室)

2025年度ガダマー協会第3回大会

*Japanese Society for
Hans-Georg Gadamer Studies*

3rd. Conference 2025

共催：大阪大学大学院人間科学研究科附属
未来共創センター・哲学の実験オープンラボ

研究発表1 (10:00-10:30 発表/10:30-10:50 質疑)

○会場A (東館207) 下山千遥 (京都大学)

「ガダマーにおける「質料 (materia)」の問題の検討——美学的観点から」

司会：土方尚子 (中央大学)

○会場B (東館106) Miunk Park (Heidelberg University)

“Reconsidering mens auctoris: From epistemic object to practical other”

司会：齋藤元紀 (高千穂大学)

研究発表2 (11:00-11:30 発表/11:30-11:50 質疑)

○会場A (東館207) 小島雅史 (法政大学大原社会問題研究所)

「ガダマー解釈学における様々な「正しさ」について」

司会：阿達佳子 (慶応大学)

○会場B (東館106) 宮崎勝正 (北海道大学)

「『真理と方法』における「言語性」概念の再検討

——人間的経験の基本構造として」

司会：森祐亮 (大阪大学)

研究発表3 (12:00-12:30 発表/12:30-12:50 質疑)

○会場A (東館207) 鶴沢和彦 (法政大学)

「「自由な戯れ」をめぐるカントとガダマー」

司会：小平健太 (高千穂大学)

○会場B (東館106) Leonardo Marques Kussler (University of Vale do Rio dos Sinos, Unisinos)

“Gadamer’s Reason in the age of science and the contemporary technology of doom”

司会：齋藤元紀 (高千穂大学)

テーマ：「ガダマーと人間科学」

登壇者：森祐亮 (大阪大学)

「戦後ドイツにおける二人の守護者：
ガダマーとリッターの精神科学論とその人間学的意義」

：近藤和敬 (大阪大学)

「フランス数理哲学における解釈の問題——モデルから文脈へ——」

：廳茂 (神戸大学)

「「理解」と「社会」——社会理論における「理解」論の系譜」

司会者：小平健太 (高千穂大学)

第二部 総会 (14:00-14:30 東館207ユメヌホール)

第三部 シンポジウム (15:00-17:50 東館207ユメヌホール)

2026年3月22日 (日)

大阪大学吹田キャンパス

(人間科学研究棟・東館207ユメヌホール)



大阪大学大学院人間科学研究科

附属 未来共創センター

哲学の実験



事前の賛同人 (会員) 登録・参加登録が必要です。

gadamerjapan@gmail.com

<https://gadamerjapan.mystrikingly.com/>

